



原発いややん寝屋川行動

原発再稼働反対の行動を実施する際に、子供たちが「原発いややん」の掛け声をかけている様子。背景には「原発ゼロ・再稼働反対」と書かれた横断幕がある。

8月16日 52回目の ゲンパツいややん寝屋川行動

原発ゼロ・再稼働反対を訴える行動が、東京の首相官邸前、関電本社前など、全国各地で毎週金曜日を中心継続してとりくまれています。

寝屋川市でも昨年の8月24日から、3人の子どもを育てる若いお母さんが、ジャンベ(アフリカの太鼓)をたたきながら、「大飯原発再稼働反対」「子どもを守ろう」と訴えはじめ、その後、毎週金曜日「ゲンパツいやん」寝屋川行動として欠かさずとりくまれています。

8月16日には、5回目の「ゲンパツいやん」行動が、夕方

市民共同発電所の とりくみも

寝屋川市では昨年8月、市民によって、ねやがわ「原発ゼロの会」が発足し、原発ゼロ、自然エネルギーへの転換を求める運動が進められています。

また、これとは別に自然エネルギーねやがわ市民の会、NPO法人ねやがわ市民共同発電所が発足し、活動を続けています。

当面、市内の民間保育園(たちばな保育園)の屋根に、寝屋川市第1号の市民共同の太陽光発電設備(10kW規格)を設置するため、市民からの寄付金を募っています。

「原発に頼りたくない」「放射能の心配なく電気をまかないたい。再生可能エネルギーを広げたい」「この思いを市民共同発電所にお寄せください」と呼び

かけています。(問い合わせは、090-17110-1702 船越さんまで)。

原発再稼働の 暴走は許されない

寝屋川市駅高架下でおこなわれました。

「福島第1原発で放射能汚染水が海にどんどん漏れ出すという、深刻な危機的事態が起

こっている中、原発再稼働への暴走は許されません」と訴えました。

そして、「原発いや

やん。原発なくそう」「再稼働反対」などが唱和されました。

この行動には、日本共産党的吉井よし子さんも参加し、「原発再稼働は許されません。原発ゼロ、廃炉を実現しましよう」と訴えました。

した。

寝屋川民報
議会版

発行 日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181(内線2399)
FAX 824-7760
Email:jcpncc@cc-net.or.jp
No. 2482

太田 とおる
高柳2-49-2
Tel 826-1664

田中 ひさ子
国松町10-36
Tel 823-1714

中林 かずえ
宝町4-33
Tel 839-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5
Tel 823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
Tel 821-7427



寝屋川市で初めての認定こども園(仮称)すみれこども園が、来年4月開設される予定です。設置者は社会福祉法人種の会(市立すみれ保育所の民営化・認定こども園化の移管事業者)で、場所は、現在の市立池田幼稚園の敷地内です▼市は、昨年11月事業者募集直後、保護者には事前の説明もなく、急きよ、それまでの幼稚園園舎の増築で認定こども園の開設をするとしていたのを変更して、池田幼稚園の敷地東端への新園舎建設を決めました▼この計画では、新園舎が自らの影で園庭に長い影を落とすことになります。

保護者は6月12日、大阪地裁に「新園舎建設工事差し止めの仮処分申請」を行いました▼この訴訟中、新園舎の施主である社会福祉法人種の会が寝屋川市に、「新園舎の建設場所の変更ができるない理由」を文書で求めました。しかし市は、変更できないということだけで、理由については回答がなかったことが明らかになりました。新園舎の建設場所については、保護者の要望通り、園庭に最も日のあたる場所にすべきです。

9月定例議会日程(予定)

- 8/28 水 10時 議会運営委員会
 9/ 3 火 10時 本会議
 4 水 10時 厚生常任委員会
 10時 文教常任委員会
 5 木 10時 総務常任委員会
 10時 建設水道常任委員会
 10 火 10時 本会議(一般質問)
 11 水 10時 本会議(一般質問)
 12 木 10時 本会議(一般質問)
 18 水 10時 議会運営委員会
 19 木 10時 厚生常任委員会協議会(所管質問)
 10時 文教常任委員会協議会(所管質問)
 20 金 10時 総務常任委員会協議会(所管質問)
 10時 建設水道常任委員会協議会(所管質問)
 25 水 9時半 議会運営委員会
 10時 本会議



あかつき・ひばり園

アの必要
な子ども
を今まで
どおり受
け入れる
こと、あ
かつき・
ひばり園
が中軸に
なつて関
係機関と
連携して
きた療育

医療的ケ
ーの必要
な子ども
を今まで
どおり受
け入れる
こと、あ
かつき・
ひばり園
が中軸に
なつて関
係機関と
連携して
きた療育

「仕様書」は、市が
指定管理者に委託する
内容を具体的に明記し
たものです。
保護者や障害者団体
は、仕様書については、
療育水準を守れる内容
になつているのか一つ
ひとつ確認したいとし
ています。

クラス担当の引き継
ぎ職員の3年目以降の
派遣、法人職員の研修・

あかつき・ひばり園

運営形態の見直し等検討会

「あかつき・ひばり園運営形態の見直し等検討会」(市側メンバー、あかつき・ひばり園保護者団体の代表6人で構成)が、開かれています。市は、指定管理者制度の導入であかつき・ひばり園の管理運営を社会福祉法人に委ねても、今まで築いてきたあかつき・ひばり園の療育水準は維持向上させること、

のネットワーク機能を継続するとしています。また、指定管理者制度導入で軽減した市財源でリハビリの充実や、北斗によるショートステイ実施への支援を公表しています。

しかし、療育水準が維持できているかどうか

かを誰が確認するのか、公的機関の中に民間法人が入って、寝屋川市の療育のネットワークの中軸をどう担つていくのかなどについて具体的な確認が保護者、関係者から求められています。

検討会では、保護者の要望を受けて、クラス担当の引き継ぎ職員の3年目以降の派遣、法人職員の研修・

ス担当職員の派遣人数の増員、派遣期間の延長など、一定の案が示されました。また、8日には、あかつき・ひばり園指定管理者仕様書(素案)と、市と検討会メンバーとの確認事項(案)を市が示しました。

療育水準の維持向上に 市が責任をもつこと

訓練の維持向上に市が責任をもつこと、専門職の確保と欠員がでた場合の市の責任などを明らかにするよう求められる意見が出されました。

障害者福祉の充実では、「ライフケース

を通じた継続的な支援についての具体化が今後の課題とされています。



か中
かずえ林

父の墓まいりをかねて、妹夫婦と3人で徳島に帰省しました。私が育った三好郡三東みよし町になっています。2年前の父の納骨には私のこども達も一緒にいました。孫を抱いて手を合わせた息子の姿がありました。

小さい頃、祖母と一緒に山畑で、じやがいもやサツマイモの苗つけをした場所が草でわかりません。

遠方に見える吉野川と四方の山々は、何もなかつたように私たちを囲んでくれました。

いつもは思い出してもしないのに、その場所に来るとよみがえります。

一つひとつの課題に**保護者、関係者の意見反映を**

